

令和 5 年 4 月 7 日

保護者 様

長岡京市教育委員会
教育長 西村 文則
長岡京市立長岡第十小学校
校 長 杉本 里佳

小中学校における内科健康診断について

平素より、本市の教育行政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市教育委員会では、令和 4 年 1 1 月に「子どもたちの安心できる健康診断をめざす会」から着衣(下着も含む)での実施を求める請願があったことを受け、学校における内科健診の実施方法について、児童生徒や保護者、学校運営協議会等への説明と意見聴取、乙訓医師会との意見交換等を行いながら協議してまいりました。

これらのご意見や協議内容を踏まえ、本市教育委員会では、疾患を早期に発見し治療につなげることが子ども達にとって最も重要なことであるとの考えのもと、内科健康診断においては、疾患の見落としがないよう正確に診察・検査を行うため、上半身脱衣を原則とし、その際、プライバシーや心情への配慮を十分に行い、かつ、児童生徒や保護者に対して丁寧に説明しながら下記のとおり実施していくこととなりました。

なお、個別の配慮が必要な場合や、ご心配・ご不明な点等がございましたら、事前に学級担任や養護教諭までご相談ください。

今後も、児童生徒が安心して健診を受けられるよう、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

(※「健康診断 Q&A」は下記 URL 又は右記 QR コードからご参照下さい。)

<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000013359.html>



記

1 上半身脱衣で行う理由

：疾患の見落としがないよう正確に適切に診察・検査を行うため。

(1) 下着を着けたままでは心雑音の聴診に必要な個所が大部分隠されてしまう。

(2) Tシャツなどを着ると胸部の観察範囲が狭くなり首部分のアトピーや甲状腺の異常等を見落とす要因になる。また、たくし上げたシャツで頸部(首)を圧迫すると、時に血管性の雑音が生じる場合があり診断を誤る原因になる。

(3) たくし上げたシャツが肩のラインを隠すため、脊柱の側弯を疑わせるきっかけとなる肩の高さの左右差を見落とす原因となる。

2 プライバシーの保護や心情面への配慮について

：小中学校では、プライバシー保護や児童生徒の心情に配慮しながら、次のように健康診断を実施しています。

＜学校での実施方法＞

- ① 児童生徒は、内科健診をする保健室などの部屋に、体操服など着衣のまま入室します。
- ② 室内にはパーテーション等で仕切られた個別の「診察スペース」と「着替えスペース」が設置されています。
- ③ 一人ずつ各スペースに進むため、他の児童生徒から着替えや裸を見られる心配はありません。
- ④ 「診察スペース」には学校医と（女性の）養護教諭がおり、周囲からは一切見られることはなく、診察直前までは、自分の衣服やタオル等で胸部を隠すことのできる配慮も行っています。

〔※どうしても抵抗のある児童生徒には、他の児童生徒等と検査時間をずらす等、子どもたちの心情をくみ取った対応をしています。〕

3 「エプロン型タオル」等による配慮の工夫について

診察の直前までは、脱いだ衣服で胸部を隠す工夫を行っています。
また、希望者には、タオル等を使用することにより、不必要な露出を避ける工夫を行います。

（１）エプロン型タオルの場合

- 「エプロン型タオル」は学校にも用意しますが、共用を避けたい場合は事前にご家庭からフェイスタオルを１枚ご持参下さい。（※紐等は学校で準備します。）
- 聴診・視診時のみ、診察に支障のないよう養護教諭等が前胸部のタオルをたくし上げます。



（２）ラップタオルの場合

- 希望される場合は、ご家庭から水泳学習で使用する「ラップタオル」を持参ください。
- 診察に支障のないよう、聴診・視診時には養護教諭等が前胸部のボタンを外し、脊柱検査時には背部のタオルを首までたくし上げます。